

「思い出は時を超える」

6月12日(木)から13日(金)にかけて、町内三つの小学校の5年生が朝日少年自然の家で宿泊学習を行いました。

スローガンは「挑戦！」体力的にもハードな自然の冒険、火起こしから始めた野外炊飯、初めて入ったドラム缶風呂、漆黒の闇の中を歩いたナイトハイク、仲間と過ごしたテント泊、おいしさに感動した自分たちで作ったうどん…。すべての活動を、仲間と協力し合い、励まし合いながらやり遂げました。

泥だらけになった運動着、たくましさが増した顔は、挑戦し続けた、協力し続けた、やり遂げた証でした。

「思い出は時を超える」この二日間の体験は、10年後、20年後…、必ずや心に残っていることと思います。

子供たちには、挑戦を支えていただいた朝日少年自然の家の所員の方、各校の先生方、おうちの方への感謝の気持ちを忘れず、「挑戦しようとする心」「協力し合おうとする態度」をこれからの生活でも大切にしてほしいと話しました。



「当時に思いをはせて」

私が小学生だった頃、まだ三つの分校（大沼、大暮山、川通）がありました。年数回あった本校（大谷小学校）での交流学习や分校まで歩いて行って交流した『歩こう会』が楽しみでした。

分校が統合され、そんな学習もなくなっていたのですが、昨年度から、創立記念日に合わせて、分校を巡る学習（閉校記念事業の一環）を行っています。今年度は、6月20日（金）、全校児童で大暮山地区を訪れました。大暮山区長 阿部喜栄治さんに案内をお願いし、校舎跡地を見たり、当時の写真を見ながら、大暮山分校の様子について話を聞いたりしました。

出発前、私が26年前にビデオカメラで撮っておいた旧大谷小学校の内部の映像を観た子供たち。当時の大暮山分校を思い描きながら、話に聞き入っていました。

来年は、川通分校の跡地を訪れる予定です。



体験してこそ「真の力」^{ちから}となる！

5月26日（月）、29日（木）、白田美代子さん、志藤恵美子さんをゲストティーチャーに招き、5年生が裁縫の授業を行いました。今年から家庭科を学び始めた5年生。糸通し、縫い方を教えていただきました。



6月10日（月）、土地改良区の方に協力いただき、5年生が田植えを行いました。初めて素足で田に入り、手で苗を植えた子供たち。貴重な体験でした。

